温室効果ガス排出削減計画

氏 (法人にあっては名称) 住 (法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 597-0093										
名 株式会										
本票作成 部署名: 吉永工場 製造部										
主たる業種 ^{分類} コード 21 業種名:窯業・土石製品製造業										
事業の 概 要 耐火れんがの製造 令和5年度生産量 82.13 千 t (県内工場) 従業員数400名(県内)										
	番号	番号 工場等の名称					所 在 地			
県内の		日生	生工場	ı Ī			備前市日生町日生2601			
		吉	永工場	ļ Ī			備前市吉永町南方1250			
主な										
工場等										
特定事業					500kl以上 🗌			タクシー250台以上		
の該当要	1午		二場等	の数	2	所	車両台	数(②該当の場	·合)	台)
計画期間	ij		令和	6	年度	\sim	令和	6 年度	(1	箇年度)
削減目標 いずれか □ 総排出量基準 目標削減率 目標 20%以上 20~15% 15~10% 10~5%			~5% 5%未満							
月170天日 伝	7	を選択 区 原単位基準 3.0			3.0	%	区分		0	
温室効果ガ	ス	- 2	基準年	度(令和	5 年度)			目標年度(令和	6 年度)	
排出量					30, 470	t CO ₂			29, 556	t CO ₂
		番号		工場	景等の名称		基準	準年度(令和	5 年度)の	排出量
		1	日生	Ľ場					21, 366	t CO ₂
基準年度の		② 吉永工場				9, 104 t CO ₂				
主な工場等 の排出量	争									t CO ₂
少伊山里										t CO ₂
	_									t CO ₂
5-1						Liste to a l				t CO ₂
※ 「計画							りる期間	間を記入する。	s in Alburt	
(原単位基準)	善の	直至勿:	果ガスの	//排出重と省	密接な関係をも~	つ値の内容			たり <u>排出量</u> 目標年	三度
削減目標を選 した場合に言		ョ生コ	場、	吉永工場の	の生産量の合	計		371	360)
入)						t CO	D ₂ / (千t)	t CO_2 / (千t)	
(該当事業者のみ記入)										
ベンチマー	´ ⊢	対象	象事業	の名称	ベンラ	チマーク指標		関連数値(令和	5 年度)	達成率(%)
	⊒							1		1

【目標削減率設定の基本的な考え方】

令和2年度~令和5年度の4年間(基準年度令和元年)において原単位基準で19.0%と想定より速いペースで削減できたことと、経済状況により令和6年度は生産量が低下することが予想されるため、令和5年基準の1年間では3%とという目標値設定となった。

【目標削減率達成のための推進体制】

各工場に省エネ推進担当者を設置し、その統括として専務取締役をトップに、エネルギー関連担当者 (吉永工場製造部主席)を取りまとめ役として推進。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

<u>IDF田重hilikozicozozotka Ci</u>	三
工場等の名称	取組内容
日生工場(令和5年度実施分)	・高効率変圧器への更新300 k VA 1 台、50 k VA1台・蛍光灯、水銀灯をLED電灯に更新(137台)・太陽光発電パネルの設置・フォークリフト更新時にEV車両を導入(6台)
吉永工場(令和5年度実施分)	・高効率変圧器(150kVA×1台、200kVA×1台、300kVA×1台、500kVA)を新設。 ・水銀灯および蛍光灯の更新時にLEDを採用(490台) ・乾燥炉の連結ダクトに断熱シートを施工 ・フォークリフト更新時にEV車両を導入(3台) ・コンプレッサーのエアー漏れを随時改修

【計画期間中に日標削減率を達成するために実施する措置】

_【計画期間中に目標削減率を達成	<u> </u>
工場等の名称	措置内容
日生工場	・太陽光パネルの増設 ・フォークリフトのEV車両への更新
吉永工場	 ・太陽光発電の増設 ・社用車をEV車輛に変更(1台) ・エンジンリフトをEV式リフトへ買い替え(4台)

【杰林但仝笙	吸収組み等へ	の取組計画】
	/X N X (////////////////////////////////	、 ソフロメ ボロ ローロー 1

県内で の取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内で の取組	有	日生工場、吉永工場ともに、2024年度に太陽光パネルの増設に着手する。		
その他	無			

【その他特記事項】

エンジニアリング事業部、技術研究所、岡山支社は日生工場内にあるため日生工場に含んでいます。